

6 教育

リカレント生の“学びたい”をサポート

大学が有するリカレント教育に関する体系的な教育課程と NTT 西日本グループの ICT を活用したソリューションを連携させ、リカレント教育課程プログラムの開発・展開等、本分野への取り組みを実施し、受講生の“学びたい”を NTT 西日本がサポート。

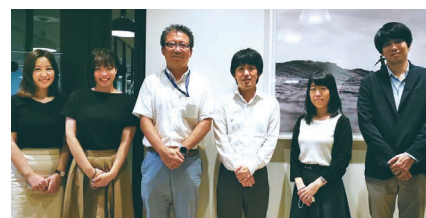
リカレント教育への取り組み

我々アドバンストソリューション営業部では、文教・金融・自治体をターゲットに業種専担で営業活動を行っている。大学を担当している文教担当では、近年、お客様から卒業生とのつながりをもっと強化していきたいとのご相談を受けることが多い。少子高齢化の流れで、今後、大学の経営は厳しくなってくると想定されており、その中で新たな顧客の獲得として卒業生に注目が集まっている。人生 100 年時代構想会議の中

でも人づくり革命基本構想がまとめられ、リカレント教育との言葉にも最近注目が集まっており、そのような背景を受け、NTT 西日本もリカレント教育市場をターゲットにしたビジネス化にも取り組んでいる。

京都女子大学との連携協定について

NTT 西日本は、2020 年 2 月、京都女子大学と「女性のためのリカレント教育課程に関する連携協定」を発表した。子育てや介護など様々な理由でキャリアを中断した女性の社会復帰を ICT（情報通信技術）でサ



(左から) 西日本電信電話株式会社
ビジネスデザイン部スマートデザイン第 1 部門

上松 千紘氏
延 奈留美氏

ビジネス営業本部
アドバンストソリューション営業部
担当課長 荻野 崇氏
担当課長 北山 賢一郎氏
浅野 真代氏
大村 怜史氏

ポートし、人生 100 年時代の豊かな人生設計を後押しする目的で連携協定を締結した。

これまで、京都女子大学のリカレント教育に関しては、時間的制約や遠隔地に居住しているなどの理由で、講義を受講したくても難しいケースが多かった。また、教育現場でも、リモート教育環境の整備や BCP（事業継続計画）対策の重要性が高まっている中、NTT 西日本グループは、在宅でも講義が受けられる「遠隔講義サービス」の構築により、受講者と教育機関双方のニーズに細かく寄り添える仕組みの提供を開始した。さらに、将来は連携大学の特色ある講義を選んで受講でき、単位互換できる「共同利用型遠隔講義

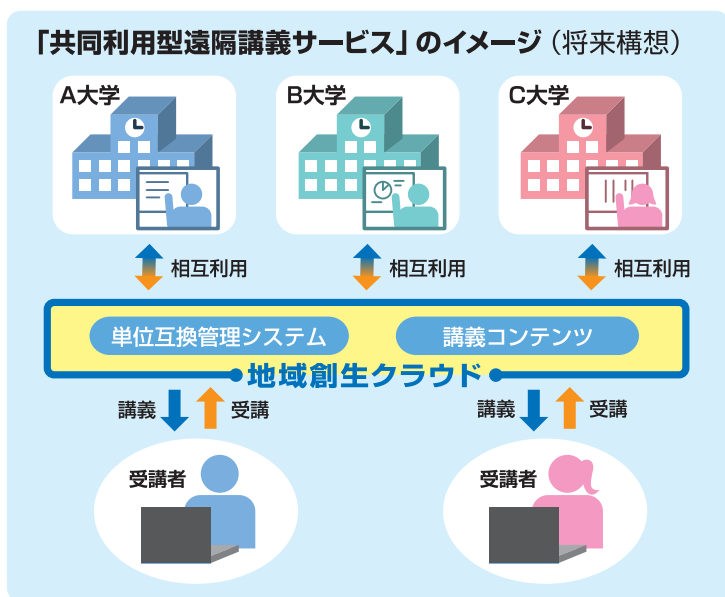


図 1 共同利用型遠隔講義サービス
※ 2020 年 7 月 14 日付 読売新聞朝刊 (大阪本社版)

義サービス」を構想しており、ウィズコロナ、ポストコロナ時代に求められる教育のデジタル化に貢献するため、将来的な実用化に向けて取り組みをすすめている。一方、リカレント教育では、キャリアが中断している女性の社会復帰への不安軽減も大きな課題となっている。大学が実施するキャリアカウンセリングでもNTT西日本の知見及びAI（人工知能）によるきめ細かなカウンセリング、またVR（仮想現実）を用いたバーチャル職場体験により、リカレント生の就職に向けたイメージづくりをICTを活用することによりサポートした。また、就業するであろう企業のICT環境に適應するため、AIやデータ入力/集計を自動化するRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）といったITスキルに関して、基礎的なスキルの習得ができるように、グループ会社と連携し、教育科目の開発を実施する。出口戦略として、就職支援にも関わる。

AIを活用した カウンセリング支援

京都女子大学では、リカレント生に対して、毎年キャリアカウンセリングを実施している。就職に悩むリカレント生に対して、カウンセラーが親身に対応しているのが売りとなっている。そのキャリアカウンセリングに対して、AIを活用して自己の棚卸から就職へのアドバイスまで幅広い範囲での支援を予定している。カウンセラーの稼働を削減するため、会話内容を自動でテキスト化するなどの機能を導入する。また、リカレント生に対しては、成績の進捗等を可視化できるダッシュボード

ICTを活用し、再教育から再就職までを支援

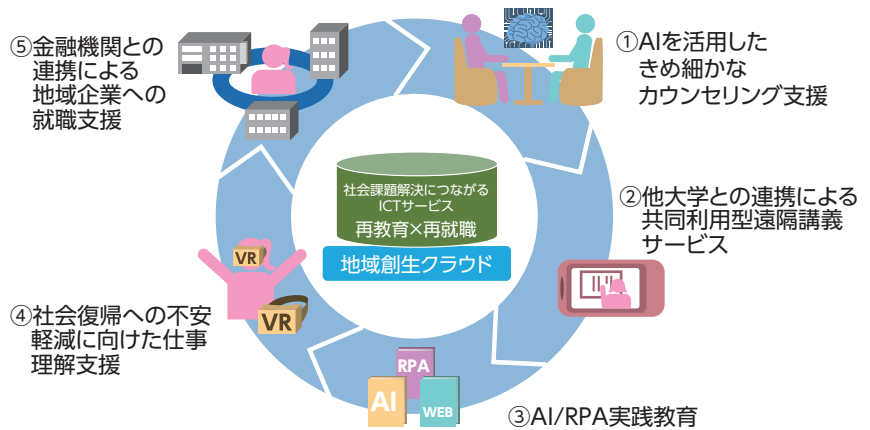


図2 NTT西日本の取り組みイメージ

機能を提供していく。自分の得意分野や苦手分野の把握が可能になるとともに、目標との進捗の差もわかるようにする。最終的には、リカレントプログラム全体の各種データを対象に、AIを活用した分析も計画している。RakuDA[®]を使用した予測分析では、自分の決めた目標に対して、現段階、足りていないスキル等を可視化して提供することを計画している。

VRを活用した就業支援

過去のリカレント生について、長く職場を離れていた女性が多いため、職場の雰囲気も知りたいとの声が多かった。臨場感ある職場体験をしてもらうため、NTT西日本グループが提供するVRシステムを導入することとした。本サービスは、現場にいなくても高臨場感が体感でき、共同利用型遠隔講義システムからも視聴可能であったため、採用を決定した。今回は、コンテンツの作成もセットで請け負い、現代の女性がどのような環境で仕事をしているか

を、テレワークやRPAを使用した業務改善などテーマを設けて撮影を行い、コンテンツの作成を行う予定である。

地域企業とのマッチング支援

地域金融機関と連携した就職支援を予定している。リカレント生が望む地域優良企業とのマッチングを地域金融機関が有する顧客情報とマッチングさせて就職を支援していくことを進めている。金融庁が2018年に監督指針を改訂し、地域金融機関が取引先に対し行う人材紹介業務が付随業務として明確化されたこと受け、金融機関とも連携を進めている。

以上がNTT西日本の取り組みの概要である。本取り組みを標準モデルとしながら、今後、拡大していくリカレント市場のビジネス化へと取り組んでいきたいと考えている。

※「RakuDA[®]」は、日本電信電話株式会社ソフトウェアイノベーションセンタが保有するデータ活用・分析に関するノウハウやデータ分析自動化技術